

カメラ一体型ドライブレコーダー
TM-V731A12

帳票出力機能付きビューアソフト
SimpleViewerIII

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後も、必要なときにはすぐにご覧になれるよう大切に保管をしてください。

【目次】

使用上のご注意	1
1. SimpleViewerIII のインストール	2
2. SimpleViewerIII のアンインストール	3
3. SimpleViewerIII の起動方法	4
4. 各部の名称とはたらき	4
5. SD カードに記録された映像ファイルの再生	6
6. 再生映像表示	7
7. ファイルリスト表示	8
8. 地図表示	9
9. グラフ表示	9
10. 再生機能	10
11. 画面の拡大	10
12. 帳票出力	11
13. 静止画保存	13
14. パスワード設定	14
15. ビューア設定	15
16. 画面表示	17
17. ファイルを検索	17
18. ファイルをコピー	18
19. ファイルを削除	20

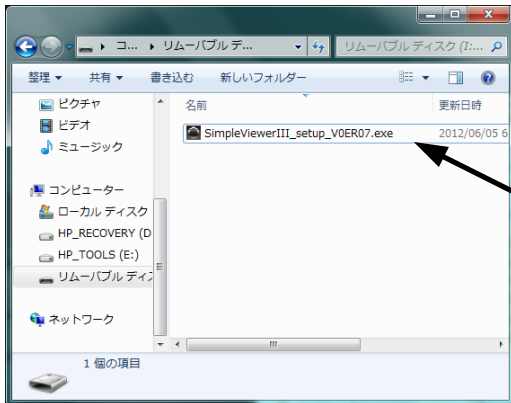
使用上のご注意

- ビューアソフト「SimpleViewerIII」を起動するために下記に記載した仕様を満たすパソコンの動作環境が必要です。あらかじめご準備ください。

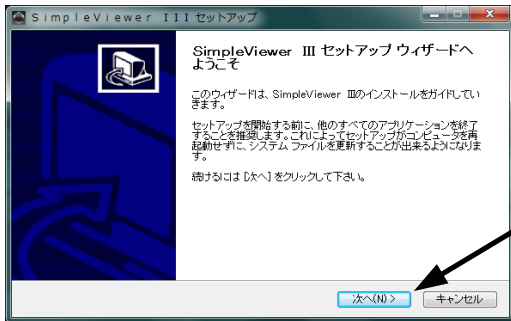
OS	Windows10、Windows8.1、Windows8、Windows7
インターネットブラウザ	Microsoft Internet Explorer10 以降インストール済み
DirectX	9.0c 以降
CPU	Intel Core2 Duo 2GHz、または、その相当品 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上

- Windows Vista、Windows XP、または、それ以前の OS はご利用になれません。
- Microsoft Internet Explorer のバージョンが 9 以前の場合は、Windows Update から更新プログラムを選択してインストールするか、もしくは、マイクロソフト社のホームページより最新の Internet Explorer をダウンロードしインストールしてください。
- インターネットに接続しない環境ではインターネットブラウザのバージョンとは関係なくご利用になれます。
- 本ビューアソフトには本体設定を行う機能がありません。G 感度調整や時刻設定を行うには、ドライブレコーダー本体に付属する「SimpleViewerII」を使用してください。

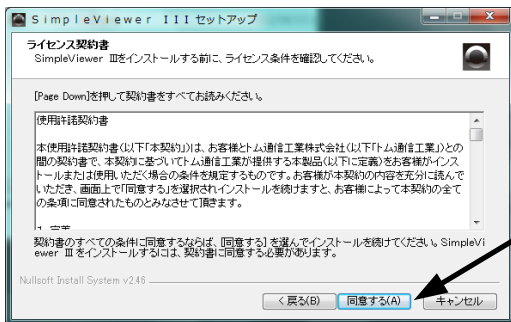
1. SimpleViewerIII のインストール



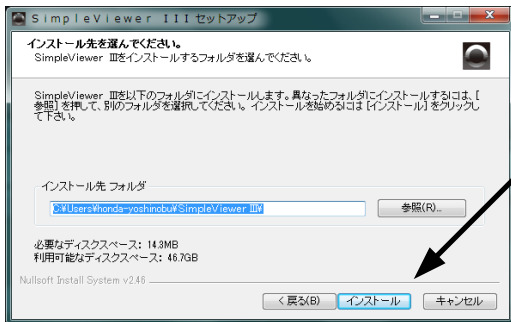
「SimpleViewerIII_setup_V0ERxx」をダブルクリックします。



「次へ」をクリックします。



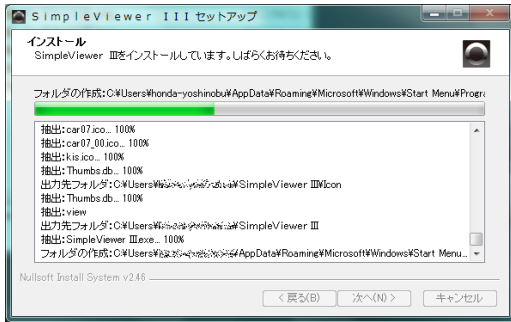
使用許諾契約書の内容をお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックします。



「インストール」をクリックします。

インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックしインストール先を指定してください。

※
管理者権限のないユーザーアカウントでインストールを行う場合はログイン中のユーザーアカウントでアクセス可能なインストール先を指定してください。

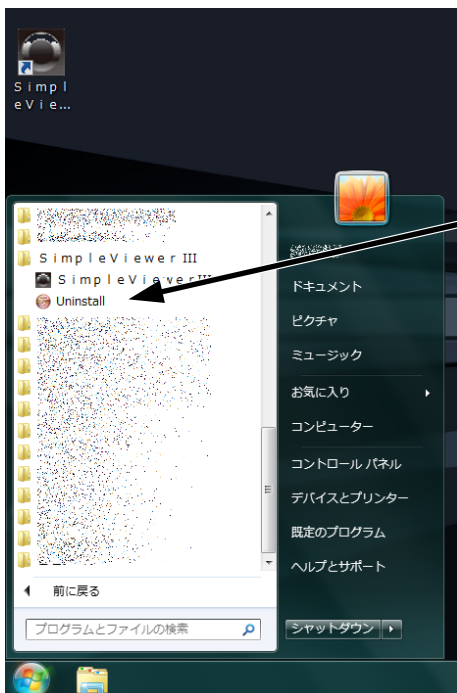


インストールが開始されます。



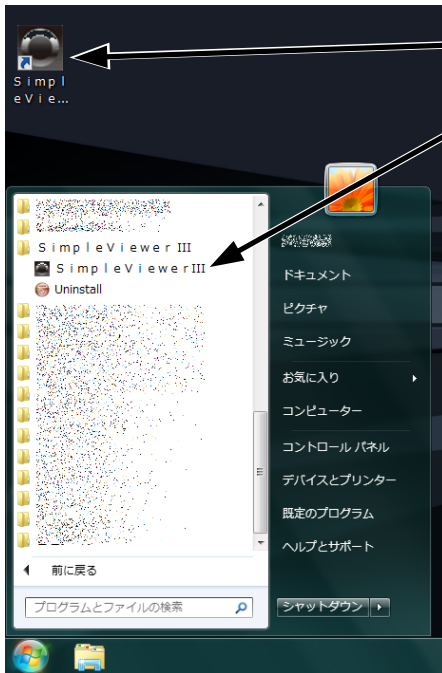
「完了」をクリックするとインストールが完了します。

2. SimpleViewerIII のアンインストール



スタートメニューの「Uninstall」をクリックしてください。あとは画面の指示に従いアンインストールを行ってください。

3. SimpleViewerIII の起動方法

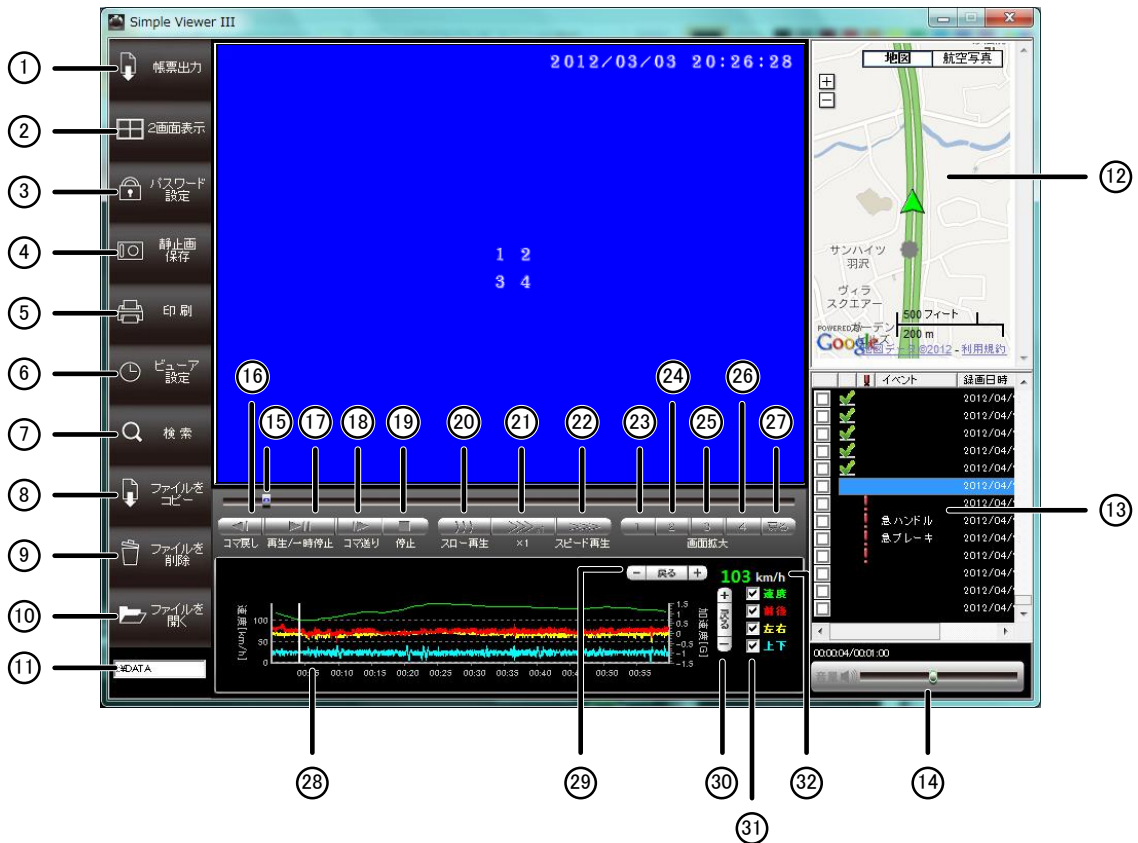


デスクトップにある「SimpleViewerIII」のショートカットアイコンをダブルクリックするか、もしくは、スタートメニューの「SimpleViewerIII」をクリックしてください。

「SimpleViewerIII」が起動します。



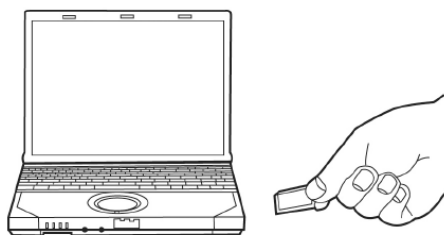
4. 各部の名称とはたらき



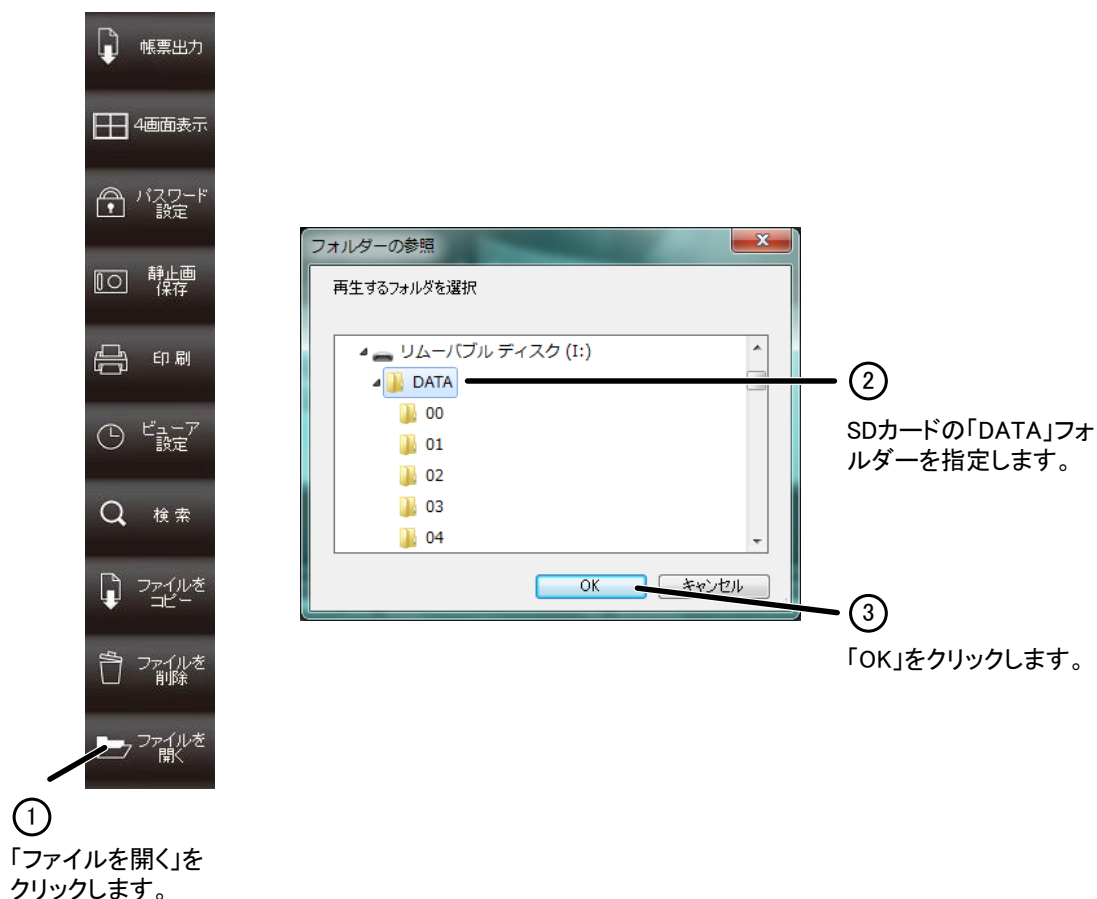
- | | |
|---------------|-------------------------------|
| ① 帳票出力 | 記録データから帳票を出力します。 |
| ② 画面表示 | 2画面表示・4画面表示の切り替えを行います。 |
| ③ パスワード設定 | 起動パスワードを設定します。 |
| ④ 静止画保存 | 表示されている映像を静止画に保存します。 |
| ⑤ 印刷 | 表示されている映像を印刷します。 |
| ⑥ ビューア設定 | ビューアの設定を行います。 |
| ⑦ 検索 | ファイルリストに表示されているファイルから検索を行います。 |
| ⑧ ファイルをコピー | ファイルのコピーを行います。 |
| ⑨ ファイルを削除 | ファイルの削除を行います。 |
| ⑩ ファイルを開く | 再生させたい映像ファイルをフォルダーから開きます。 |
| ⑪ フォルダー指定 | 再生させたい映像ファイルがあるフォルダーを指定します。 |
| ⑫ 地図 | 地図表示します。 |
| ⑬ ファイルリスト | 再生させるファイルのリストを表示します。 |
| ⑭ 音量調整 | 再生音量を調整します。 |
| ⑮ シークバー | 再生映像をサーチします。 |
| ⑯ コマ戻し | 再生映像をコマ戻しします。 |
| ⑰ 再生/一時停止 | 映像ファイルを再生・一時停止します。 |
| ⑱ コマ送り | 再生映像をコマ送りします。 |
| ⑲ 停止 | 再生を停止します。 |
| ⑳ スロー再生 | スロー再生速度の倍率を変えます。 |
| ㉑ 通常速度再生 | 再生を通常速度に戻します。 |
| ㉒ スピード再生 | スピード再生の倍率を変えます。 |
| ㉓ 画面1の拡大 | 画面1のみを表示します。 |
| ㉔ 画面2の拡大 | 画面2のみを表示します。 |
| ㉕ 画面3の拡大 | 画面3のみを表示します。 |
| ㉖ 画面4の拡大 | 画面4のみを表示します。 |
| ㉗ もとの画面サイズに戻る | 画面を元のサイズに戻します。 |
| ㉘ グラフ表示 | 加速度、速度、エンジン回転数のグラフを表示します。 |
| ㉙ 時間軸の拡大/縮小 | グラフの時間軸の拡大・縮小を行います。 |
| ㉚ 加速度軸の拡大/縮小 | グラフの加速度軸の拡大・縮小を行います。 |
| ㉛ グラフ表示選択 | 表示させるグラフの選択を行います。 |
| ㉜ 速度表示 | 走行映像の速度を表示します。 |

5. SD カードに記録された映像ファイルの再生

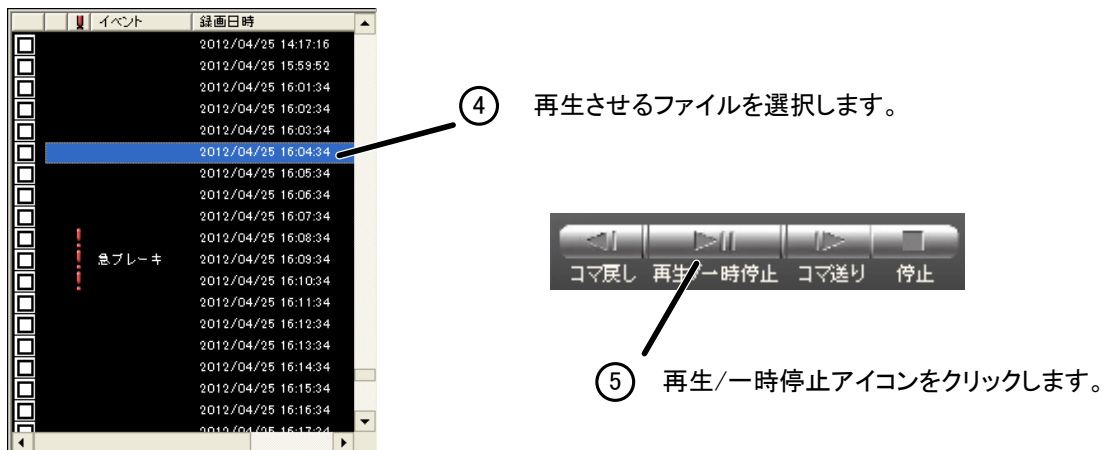
本体で録画させた SD カードをパソコンの SD カードスロットに挿入してください。SD カードスロットを搭載していないパソコンは USB SD カードリーダー等をパソコンに接続して使用してください。



「SimpleViewer III」を起動し①「ファイルを開く」をクリックします。「フォルダーの参照」画面が表示されますので、②SD カードが挿入されているドライブ(リムーバブルディスク)の「DATA」フォルダーを選択し③「OK」をクリックしてください。ファイルリストに読込んだファイルの一覧が表示されます。

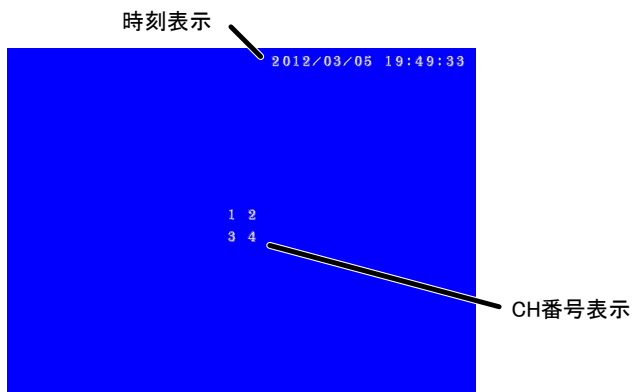


ファイルリストに表示されたファイルの一覧から④再生させるファイルを選択します。⑤「再生/一時停止」のアイコンをクリックすると再生されます。



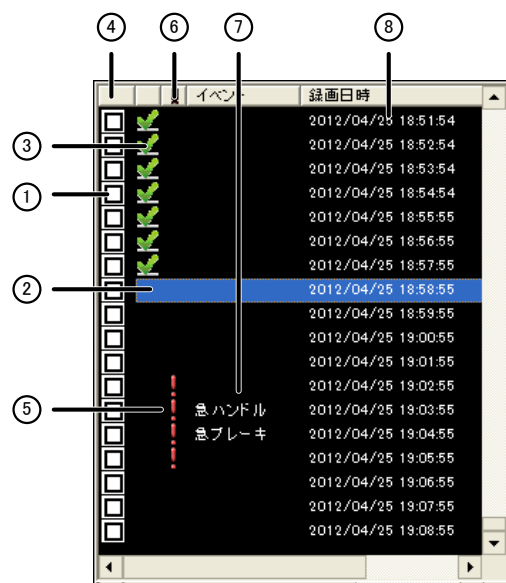
6. 再生映像表示

録画した映像ファイルには録画時刻、及び、CH 番号が表示されます。



7. ファイルリスト表示

ファイルリスト表示は「ファイルを開く」で指定したフォルダーに保存されているファイルの一覧をリスト表示します。



- | | | |
|---|---------------------|---|
| ① | ファイル選択 | 「ファイルをコピー」、「ファイルを削除」の機能を使用する場合にチェックボックスをオンすることでファイルの選択を行います。 |
| ② | 再生ファイル表示 | 再生中のファイルを青色で表示します。 |
| ③ | 再生済みファイル | ビューアを起動してから一度再生したファイルに「レ」マークが付きません。 |
| ④ | 全ファイル選択/選択解除 | ④の箇所をクリックするとリストにある全てのファイルの選択と解除を切替えることができます。 |
| ⑤ | イベントマーカ―(赤) | イベントファイルに「!(赤色)」マークが付きません。 |
| ⑥ | イベントファイル抽出
!(赤色) | ⑥の箇所をクリックすると「!(赤色)」マークがついたファイルのみを抽出して、ファイルリストに表示します。 |
| ⑦ | イベント種別 | 急加速、急ブレーキ、急ハンドルのイベントの種別を表示します。
1ファイルに複数のイベントが発生した場合は併記されます。
※ご使用のパソコンの解像度によってはイベント種別が隠れて見えなくなるがありますが、イベント種別の表示欄をドラッグすることで表示幅を広くすることができます。 |
| ⑧ | 録画時刻 | 映像ファイルが記録された時刻を示します。 |

8. 地図表示

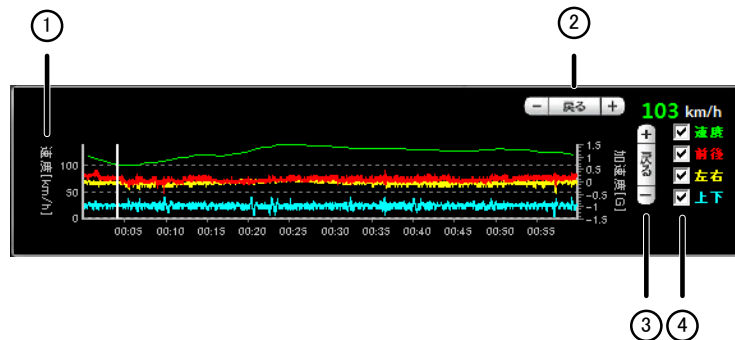
GPS を使用して録画した映像の場所と走行の軌跡を地図に表示することができます。地図の表示を行うためにはインターネットに接続できるパソコン環境でビューアを起動してください。



録画開始して数分間は GPS が受信できないため地図に表示されません。また、トンネル内等で GPS が受信できない場合は、表示位置が更新されません。GPS の受信状況により表示される位置が多少ずれる場合があります。

9. グラフ表示

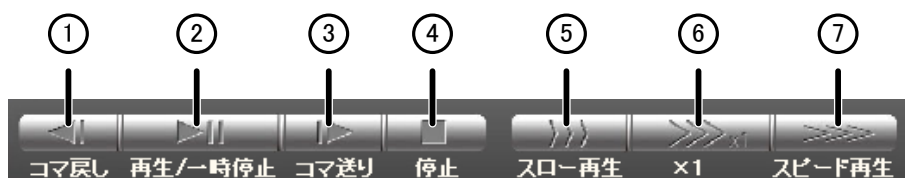
映像とともに記録した加速度データ、速度データをグラフに表示します。速度データは GPS が受信できている場合にのみ表示されます。



- | | |
|------------------|--|
| ① 速度軸 | 速度の軸です。 |
| ② 時間軸の拡大・縮小アイコン | 時間軸の拡大・縮小を行うアイコンです。「+」をクリックすると拡大し、「-」をクリックすると縮小されます。「戻る」をクリックすると標準の表示に戻ります。 |
| ③ 加速度軸の拡大・縮小アイコン | 加速度軸の拡大・縮小を行うアイコンです。「+」をクリックすると拡大し、「-」をクリックすると縮小されます。「戻る」をクリックすると標準の表示に戻ります。 |
| ④ グラフ表示チェックボックス | チェックボックスをオンにしたグラフが表示されます。 |

10. 再生機能

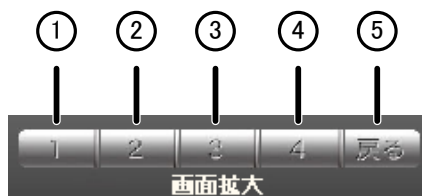
通常の再生のほかにコマ送りやスロー再生を行うことができます。



- | | |
|--------------|--|
| ① コマ戻し | コマ戻しをします。 |
| ② 再生/一時停止 | 映像の再生と一時停止をします。 |
| ③ コマ送り | コマ送りをします。 |
| ④ 停止 | 再生中の映像を停止します。停止時は再生中のファイルの先頭の映像を表示します。 |
| ⑤ スロー再生 | 再生速度を遅くします。アイコンをクリックするたびに再生速度倍率が下がります。 |
| ⑥ x1 (等倍に戻る) | 再生速度を1倍に戻します。 |
| ⑦ スピード再生 | 再生速度を速めます。アイコンをクリックするたびに再生速度倍率が上がります。 |

11. 画面の拡大

再生映像を CH 毎に拡大することができます。



- | | |
|----------|-----------------------------------|
| ① 1CH 拡大 | 1CH の映像を拡大表示します。 |
| ② 2CH 拡大 | 2CH の映像を拡大表示します。 |
| ③ 3CH 拡大 | 3CH の映像を拡大表示します。(2 画面表示時は無効となります) |
| ④ 4CH 拡大 | 4CH の映像を拡大表示します。(2 画面表示時は無効となります) |
| ⑤ 戻る | 元の画面サイズに戻ります。 |

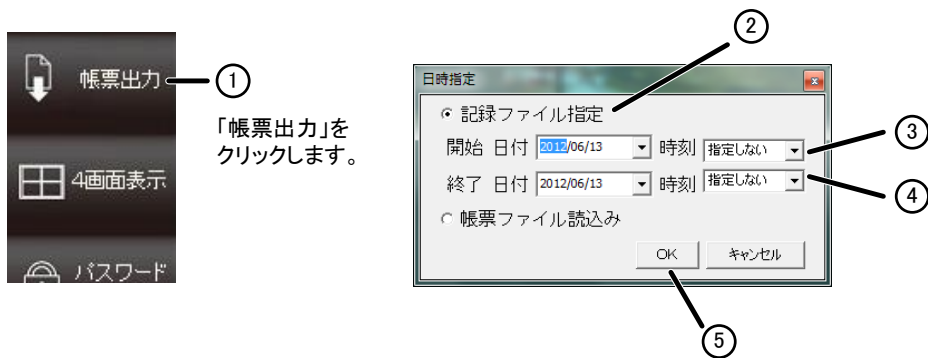
12. 帳票出力

帳票出力は録画中に記録した加速度データ、及び、GPS による速度データを基にしてイベント発生回数を集計し帳票に出力します。

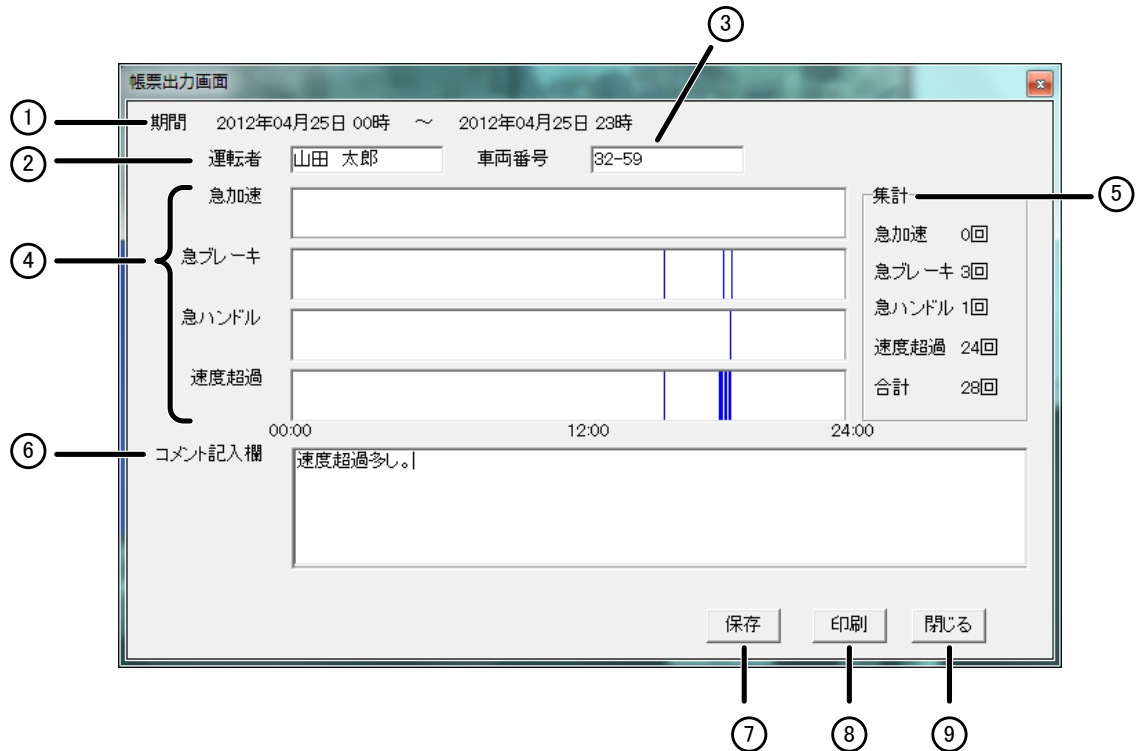
(1) 記録ファイル指定

記録ファイル指定は日付と時刻を指定したファイルについて帳票に出力します。

①「帳票出力」のアイコンをクリックします。「日時指定」画面が表示されますので②記録ファイル指定をクリックし、③開始日時、④終了日時を指定します。「時刻」に「指定しない」を選択すると指定した日付のファイルについて帳票出力します。続いて「OK」をクリックします。帳票出力結果が表示されます。



(2) 帳票出力画面

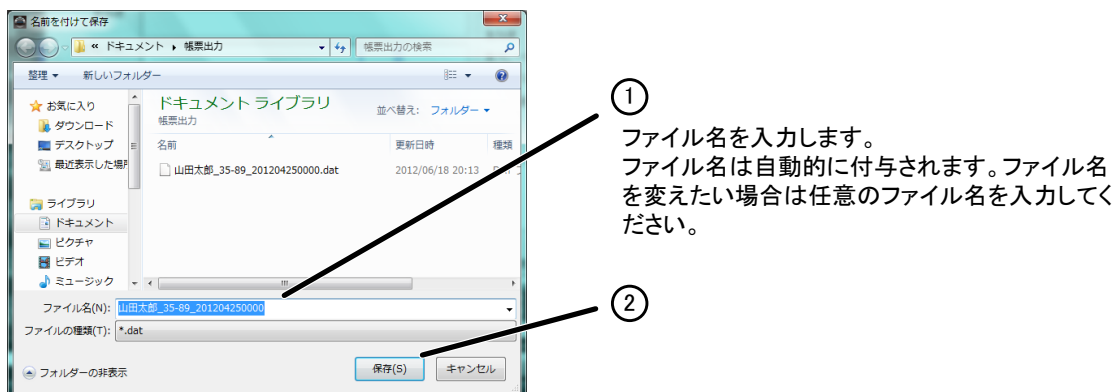


- | | |
|------------|--------------------------|
| ① 期間 | 帳票出力している期間です。 |
| ② 運転者 | 運転者名を入力します。 |
| ③ 車両番号 | 車両番号を入力します。 |
| ④ イベントチャート | 発生したイベントの時系列チャートが表示されます。 |
| ⑤ イベント回数集計 | 発生したイベントの回数の集計が表示されます。 |
| ⑥ コメント記入欄 | 任意のコメントを入力します。 |
| ⑦ 保存 | 帳票出力画面の内容を保存します。 |
| ⑧ 印刷 | 帳票出力画面を印刷します。 |
| ⑨ 閉じる | 帳票出力画面を閉じます。 |

(3)ファイル保存

帳票出力の結果をファイルに保存します。集計結果とともに運転者、車両番号、及び、コメント記入欄に入力した内容についても保存されます。

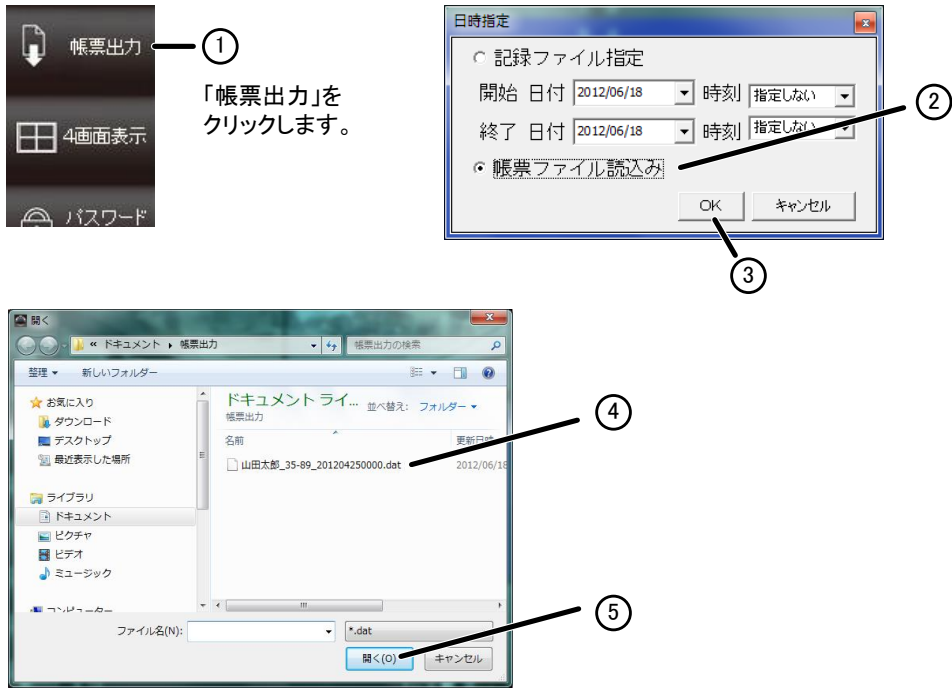
帳票出力画面の「保存」ボタンをクリックします。「名前をつけて保存」画面が表示されます。ファイル名は自動的に付与されます。ファイル名を変更したい場合はファイル名を入力します。続いて「保存」ボタンをクリックするとファイルが保存されます。



(4)帳票ファイル読込

ファイル保存した帳票のファイルを読込みます。

①「帳票出力」をクリックし「日時指定」画面を開きます。②「帳票ファイル読込み」のチェックボックスをオンにして③「OK」をクリックします。「開く」画面で④読込むファイルを選択し⑤「開く」をクリックすると、ファイル保存された集計結果が帳票出力に表示されます。



13. 静止画保存

映像データの一コマを静止画として保存することができます。

記録した映像を再生させます。①静止画保存したい映像の場所で「再生/一時停止」ボタンをクリックします。②「静止画保存」アイコンをクリックしてください。「静止画ファイル保存」画面が表示されます。③保存先のフォルダーを指定しファイル名を入力して「保存」ボタンをクリックします。なお、再生中に「静止画保存」アイコンをクリックしても動作しません。静止画保存は一時停止中もしくは停止中に行ってください。

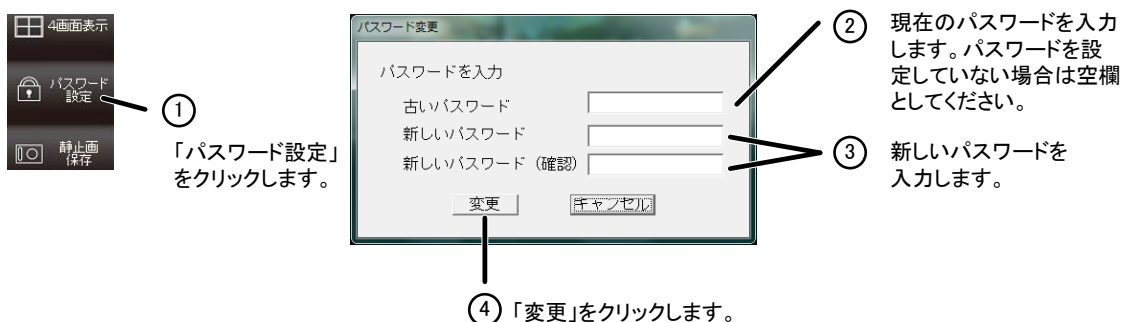


14. パスワード設定

パスワードを設定すると起動時にパスワードが要求されます。正しいパスワードを入力するとビューアが起動します。

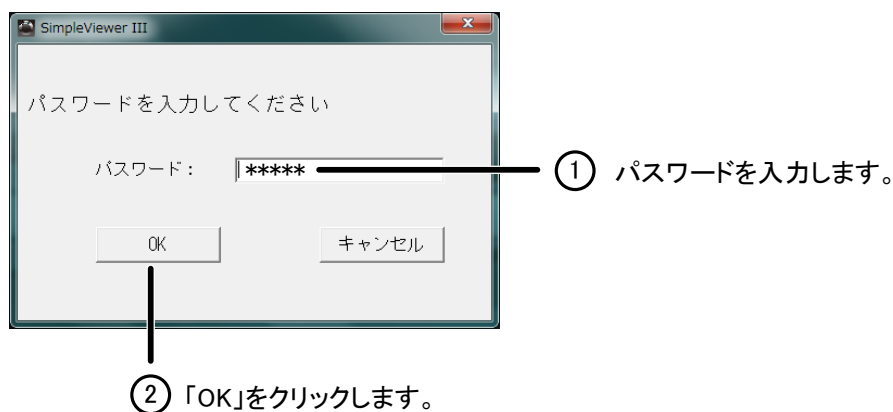
(1) 起動パスワードの設定方法

①「ビューア設定」アイコンをクリックすると「ビューア設定」画面が表示されます。②「起動パスワード」のタブをクリックしてください。次に③現在のパスワードを入力します。パスワードを設定していない場合は空欄としてください。④新しいパスワードを入力し⑤「変更」ボタンをクリックしてください。起動パスワードが設定されます。



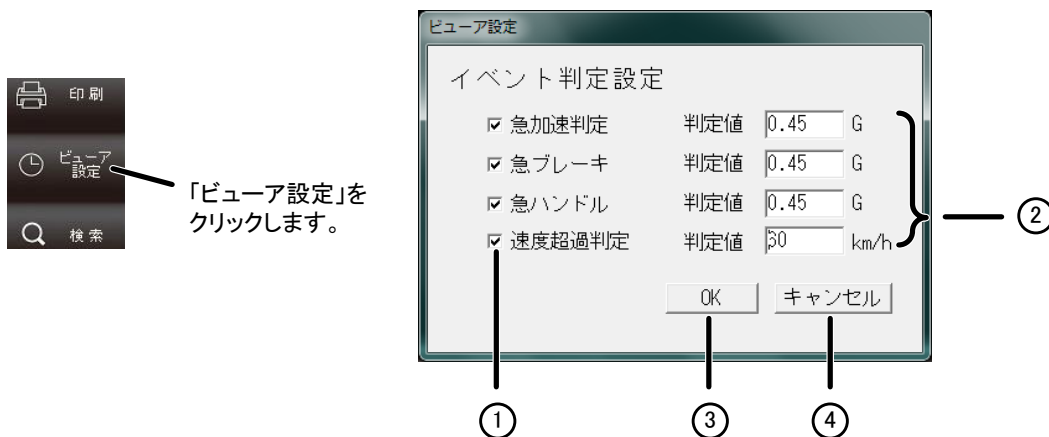
(2) 起動パスワード設定時のビューア起動

「SimpleViewerIII」を起動するとパスワード入力画面が表示されます。①パスワードを入力し、②「OK」ボタンをクリックしてください。パスワードが正しければビューアソフトが起動します。



15. ビューア設定

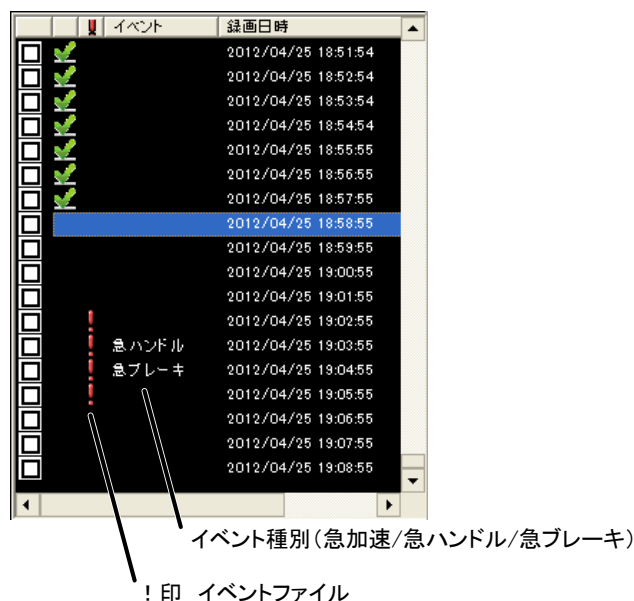
ビューア設定は帳票出力で集計を行う各種イベントの判定値を設定します。ビューア設定画面を表示するには「ビューア設定」のアイコンをクリックします。



- | | | |
|---|----------|---|
| ① | チェックボックス | 各イベントの判定・集計を行うか設定します。
チェックボックスにチェックを入れると有効となります。 |
| ② | 判定値 | イベント判定する場合の判定値を設定します。 |
| ③ | OK | 設定の変更を有効にします。 |
| ④ | キャンセル | 設定の変更を取り消します。 |

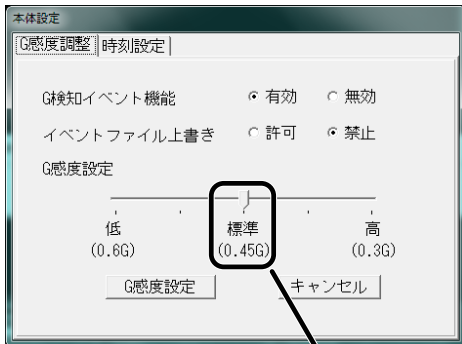
・イベント判定設定に関する注意事項

急加速、急ブレーキ、および、急ハンドルのイベント種別の分析はドライブレコーダー本体でイベントファイルとして記録されたファイルについて行います。通常のファイルについてはイベント種別の分析は行いません。

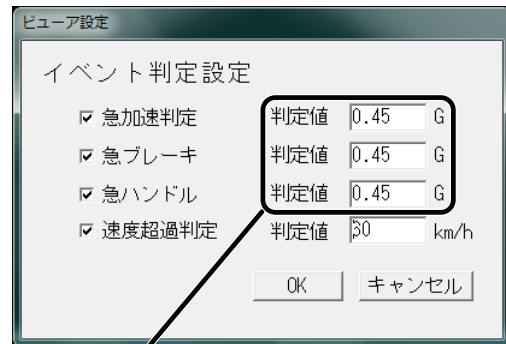


本体の G 感度設定の値はイベント判定設定値よりも低い値となるように設定してください。

SimpleViewerII 本体設定



SimpleViewerIII イベント判定設定



本体設定 G感度設定値 ≤ イベント判定設定

イベント判定設定値の目安

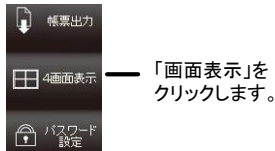
本体設定 (SimpleViewerII)	イベント判定設定 (SimpleViewerIII)
低 (0.6G)	0.6G 以上
低-標準	0.5G 以上
標準 (0.45G)	0.45G 以上
標準-高	0.4G 以上
高 (0.30G)	0.3G 以上

設定を変更したあとは「ファイルを開く」でファイルリストを読み直してください。

速度超過の判定は帳票出力の日時指定で指定した範囲のすべてのファイルについて分析します。速度超過判定を有効にすると読み込み時間が長くなります。

16. 画面表示

ビューアの画面表示方法を切替えます。2画面表示に設定した場合、1chと2chの映像のみを表示します。4画面表示に設定した場合1ch～4chの映像全てを表示します。「画面表示」のアイコンをクリックするたびに4画面表示と2画面表示が切り替わります。



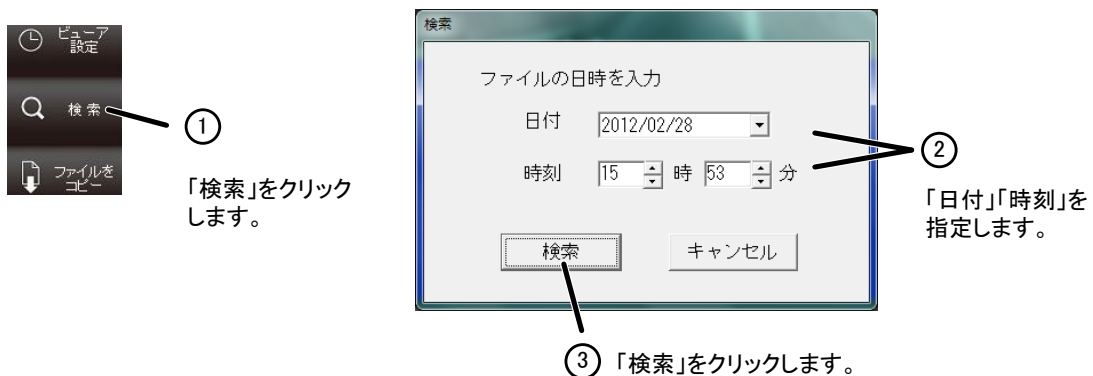
4画面表示設定



2画面表示設定

17. ファイルを検索

ファイルリストにあるファイルから日付・時刻を指定してファイルを検索することができます。①「検索」アイコンをクリックすると「検索」画面が表示されます。②「日付」「時刻」を指定し③「検索」ボタンをクリックします。もっとも近い日時のファイルがファイルリストに選択されます。

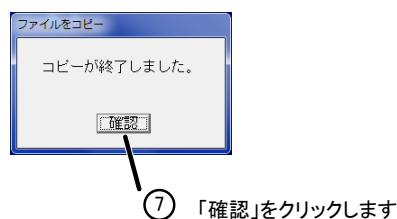
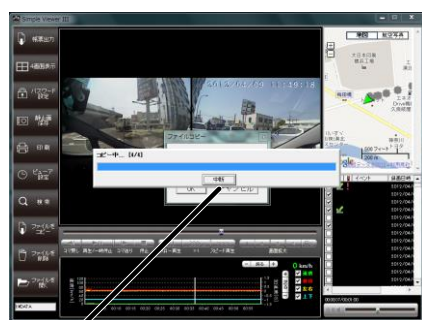
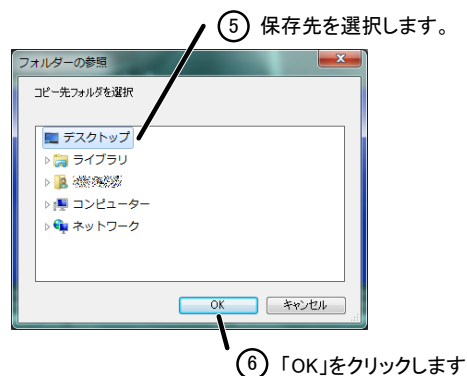
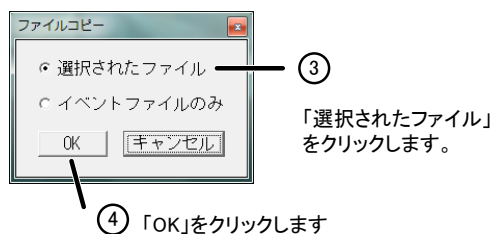
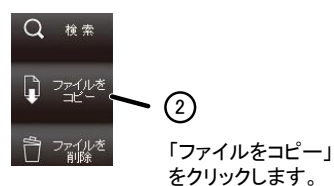
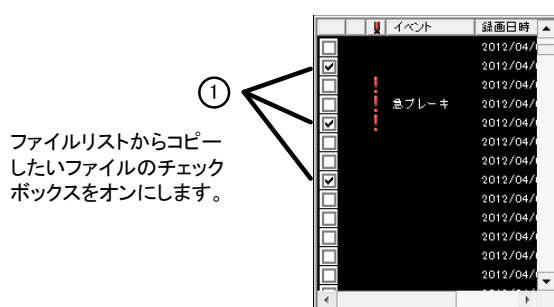


18. ファイルをコピー

「ファイルをコピー」機能を使用するとSDカードに記録されたファイルをパソコンにコピーすることができます。ファイルのコピーはファイルリストで選択したファイルをコピーする方法と、ファイルリストにある全てのイベントファイルをコピーする方法があります。

(1) 選択されたファイルのみをコピー

①ファイルリストからコピーしたいファイルのチェックボックスをオンして、②「ファイルをコピー」アイコンをクリックします。③「選択されたファイル」をクリックし、④「OK」をクリックします。⑤保存先を選択し⑥「OK」をクリックしてください。ファイルのコピーが開始されます。また、ファイルコピー中に「中断」ボタンをクリックするとコピーを中断することができます。

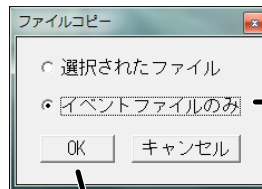


(2) イベントファイルのみをコピー

①「ファイルをコピー」アイコンをクリックします。②「イベントファイルのみ」をクリックして③「OK」をクリックします。④運転者名を入力します。ここで入力した名称でフォルダーが作成されイベントファイルがコピーされます。⑤「参照」ボタンをクリックし保存先を選択し、⑥「OK」ボタンをクリックしてください。イベントファイルのコピーが開始されます。また、ファイルコピー中に「中断」ボタンをクリックするとコピーを中断することができます。

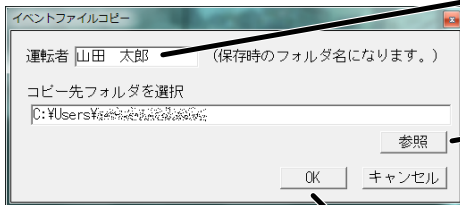


① 「ファイルをコピー」
をクリックします。



② 「イベントファイルのみ」
をクリックします。

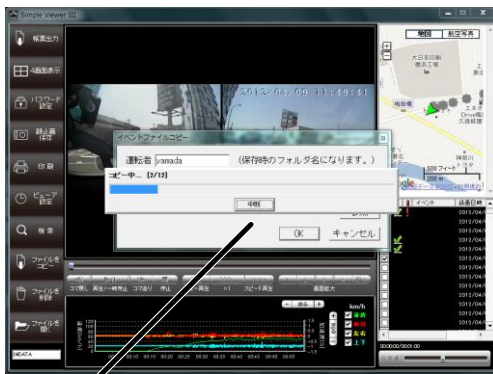
③ 「OK」をクリックします



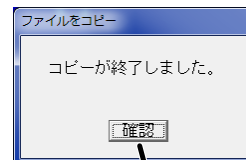
④ 運転者名を入力します。
ここで入力した名称でフォルダーが作成されます。
未入力の場合はフォルダーは作成されません。

⑤ 「参照」ボタンをクリックしコピー先を指定します。

⑥ 「OK」ボタンをクリックします。



コピー中に「中断」ボタンをクリックすると
コピーを中断することができます。



⑦ 「確認」をクリックします

19. ファイルを削除

ファイルリストに表示されているファイルを選択して削除します。

①ファイルリストから削除したいファイルのチェックボックスをオンにして、②「ファイルを削除」アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されますので削除する場合は③「はい」ボタンをクリックします。



※ SD カードに記録されているファイルを削除する場合はビューアから削除を行ってください。SD カードに記録されているファイルを直接削除しないでください。